

# こちらう奈良市

## 東部出張所です

〜未来のために今できること〜

第33号

令和元年12月1日発行

編集・発行  
奈良市東部出張所  
奈良市大柳生町4735  
TEL 93-0001  
FAX 93-0061

こんにちは。東部出張所所長補佐の藤原卓二です。日に日に肌寒くなつてまいりましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

クリスマス、正月と楽しい行事を目前に、知らず知らずのうちに気分が浮き立つ12月。一方で、一年のまとめに、来年の準備にと、気忙しいもピークになる季節でもあります。この時期を表す言葉、「師走」と「年の瀬」のふたつの言葉があります。

「師走」はもともと旧暦の「12月」を指す言葉です。具体的には今の12月末から2月上旬ごろを指すのですが、今では陽暦の12月の異称としても親しまれています。

「年の瀬」とは「年の暮れ」「年末」「歳末」を表す言葉です。「師走」「年の瀬」どちらの言葉も12月中に使えば間違いではないのですが、12月のはじめから中旬までは「師走の候」などと、「師走」を使うといいでしょう。「年の瀬」は12月上旬に「年の瀬」に入りましたが、そのような言い方でも使えますが、12月15日ごろから「年の瀬もいよいよ押し迫り」などと使うと、季節をとらえた挨拶になります。

また、年末には「良いお年を」という言葉をよく使います。これは「良いお年をお迎えください」を省略したもので、新年を迎える前の挨拶です。

これから寒さはますます厳しくなります。12月は火災も多くなる時期ですので、火の元にも十分注意して、新時代の初めての年越しの準備をしましょう。

# 東部レポート

## Tobu高原マルシェ

10月より6回にわたり、市役所1階玄関ホールにて開催された「Tobu高原マルシェ」は、おかげさまでいずれの回も盛況を博しました。全体を通してよく売れていて、かつお客様からのご要望が高かった商品は、なんといつても【草もち】です。「この草もちが好きで、昔まだ車乗つてた頃はよく買いに行つてたんや」と懐かしんでたくさん買つていかれる方もいらつしやいました。



それ以外に季節の野菜もたくさん並びましたが、お客様の多くは値段の安さに驚かれていました。100円の白菜を3つもご購入いただき両手に抱えて帰つた方もいらつしやいました。さぞかし盛大な鍋パーティーが開催されたことでしょう。

東部地域にある直売所のPRということで実施した今回のマルシェを通して、ただ単に『安い』おいしいだけでなく、『買い物の楽しさ』を感じられる催しであつたように思います。必要な物を事務的に買うのではなく、「あの野菜なんやろ？ どうやって食べるんやろ？」と好奇心を持って迷いながらする買い物は、スーパーでは味わえない買い物の魅力の1つだと思えます。1人でも多くの方にそんな魅力が伝わり、「今度東部に買い物に行つてみよう」と思っていただけをお願いいたします。これからも直売所事業を進めていけたらと思います。

# 東部出張所 職員のコーナー

みなさんこんにちは。東部出張所の奥村です。東部地域の振興に関する業務を担当しています。東部出張所に配属になり1年9ヶ月になりました。人生初めての車通勤で朝からドキドキしながら運転しています。昨年の走行距離は8年間分の距離を1年間で走りました。1年間よく走行したな、と自分でも少し感心しています。

今回は振興に関する事業の一つであるツアー開発について紹介いたします。ツアー開発については、公益社団法人奈良市観光協会と協力して行つていきます。昨年度は、「須川ダム・川上ダム周遊ツアー」「秋の円成寺、芳徳寺、浄瑠璃寺を巡る紅葉ツアー」「田原スタジアム①」等、13コースを企画し9コースが催行、120名のお客様にご参加いただきました。少しずつではありますが奈良県外からのお客様の割合も増えてきています。

今年度上半期は田原地区を出発し滝坂の道を巡る「春日山原始林さんぽ はな編」、ホトケ女子の安達えみさんと仏像をテーマにめぐる「ホトケ女子的仏像ツアー」等を企画しました。また下半期に実施予定のツアーは「田原スタジアム②ツタカゴ作りと鏡餅作り体験」や滝坂の道を歩く「春日山原始林さんぽ 石仏編」です。

引き続き地域の魅力ある観光資源を多くの方にPRできるように奈良市観光協会と当出張所で協力して観光ツアーを開発していきます。

※こちらに掲載の情報は編集の都合上、11月15日現在のものになります。

